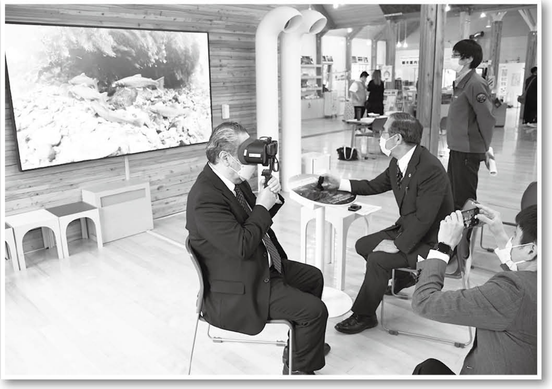

大迫力のＶＲ体験

4/18 大雪山国立公園の魅力を発信

今年で10周年を迎えるひがし大雪自然館に、新たな映像展示コンテンツが公開されました。100インチの大型スクリーンで同公園の景観や旧国鉄士幌線三股地区の歴史を体験できる内容となっており、ＶＲ（バーチャルリアリティー＝仮想現実）動画も専用のゴーグルにより視聴することができます。

公開にあたり、環境省大雪山国立公園管理事務所の広野所長は「ＶＲの迫力ある映像を楽しんでいただき、国立公園の魅力を感じて頂ければ」と話しました。

上士幌仏教会

4/19 中学校に図書購入費を寄付

上士幌仏教会様が生徒たちの読書習慣の定着を図るため、上士幌中学校へ学校図書購入費用を寄付していただきました。上士幌仏教会の西田様と斉藤様が中学校を訪れ、生徒会長へ寄付金を手渡しました。

斉藤様は「今回の寄付を活用して、生徒の皆さんが読書に親しめるようさまざまな本を揃えてもらえれば」とお話しいただき、生徒会長の森本さんは「面白い本を整備し、みんなが読書をたくさん楽しめるよう活用していきたい」と感謝の言葉を述べました。

地域を変えていく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

4 質の高い教育をみんなに

TITLE：学びの場を増やす取り組みを　　記：観光誘客組織づくり推進員　西村　桃香

昨年の11月から上士幌町の地域おこし協力隊として活動しております西村と申します。

私は約６か月間、協力隊として道の駅かみしほろでイベントの企画・運営やDMOに携わる活動をしております。

現在は、『道の駅がより町民の皆様に慣れ親しんで頂けるような仕組み作りをする』という目標を掲げ日々一つ一つ課題に向き合っております。仕組み作りをしていく中で、町民の方が道の駅に何度も足を運んでも飽きないようにする課題がございました。

課題を解決する方法の一つとして、『道の駅を学びの場にする』という取り組みしており、今年の３月にはそのスタートとして講師の先生をお招きしフラワーアレンジメント講座を実施いたしました。講座の中では花の癒し効果を実感して頂く、自分自身を見つめ直す時間を作り出す、人が一日に沢山の選択をして生きているということを、花をご自身で選択することを通して体感して頂くという３つの目的を体感して頂けるよう講座を構成し開催いたしました。参加者の皆様からはありがたいことに満足度の高いお声を頂けました。今回の開催を通して見えてきた新たな課題もございましたので、今後も目標達成に向けて精進していきたいです。

4/23 OPEN

4/29 OPEN

5/5 OPEN

～今期の営業を開始しました～

４・５月の まちのわだい

トバチ×トカトカ×上高生

4/18 上高マッチングが始まりました

今年度の上高マッチングでは、上士幌高校の生徒たちがトバチとトカトカのコラボ商品の開発を行っています。４月18日にトバチのハンバーグやハチミツなど、翌19日はトカトカのパンを試食し、高校生の視点から新たなレシピ開発を目指します。

３年生の坂田心寧さんは「去年、部活の先輩がいろいろな商品を開発したのを見て、自分もやってみたいと思った。ハチミツを活かせるようなパンとの組み合わせを考えてみたい。」と意気込みを語りました。

エゾレッド×エゾドライブ×ほろんちゃん

4/20 火災予防ステッカー完成

上士幌消防署と上士幌郵便局が連携して、郵便車両に火災予防ステッカーを貼り防災を呼びかける取り組みを今年も実施しています。

今年度はほろんちゃんとオリジナルヒーローのエゾレッド、エゾドライブをあしらったデザインとなっており、近藤郵便局長は「ステッカーを貼ることで火災予防のお知らせ活動ができれば」とお話いただき、西垣消防署長は「郵便局と連携し、火災予防につながることを期待したい」と話しました。

上士幌で育った木を使っています

4/26 森の輪（わっこ）を配布

今年度も「森の輪プロジェクト」に参加し、赤ちゃん健診を受診する３～４か月の赤ちゃんたちに上士幌町産のシンラカンバを使用した森の輪（ドーナッツ型の木のおもちゃ）が送られました。

森の輪には、一人ひとりの名前と生年月日が印字されているほか、町内の手芸サークルの方にご協力をいただいた収納袋もセットとなっています。

赤ちゃんたちは初めて触る木の感触に興味津々な様子で、握ったりかじったりしていました。

株式会社市川組

4/27 牛乳贈答券1590枚寄付

株式会社市川組様から牛乳贈答券1590枚を町にご寄付いただきました。ご寄付いただいた牛乳券は小学校や中学校、こども園に届けられ、一人３枚ずつ配布予定です。

専務取締役の市川靖智様は「上士幌町の未来を担う子どもたちの身体づくりに貢献できれば」とお話しいただきました。町長は「元気な学校生活をおくるためには、栄養たっぷりの牛乳は欠かせない。非常にありがたい」と話しました。

役場の新人紹介

よろしくお願いします！

氏　　名　森口（もりぐち）　さおり　（33歳）
担当課（職名）　企画財政課（地域おこし協力隊）
出 身 地　登別市

持続可能なまちづくりにいち早く様々な方法で取り組んでいる上士幌町で働けることにわくわくしています。

より住みやすく、環境に配慮したまちづくりに向けて努力してまいります。

▲５月11日、子育て講習会が開催され、母親や関係者が子どもの心身の発育などについて学びました。６月の開催日は８ページをご覧ください。

上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第１回脱炭素選考地域に選定されました！

４月26日、脱炭素（CO2の排出を実質ゼロにする取り組み）に意欲的に取り組む自治体として、上士幌町が「脱炭素先行地域」に選定されました。第１回目となる募集には、全国で102自治体・79件の応募があり、本町含め26件が選ばれています。選定された地域は、国から最大50億円の支援を受けながら、中長期的な視点で脱炭素に向けた取り組みを進めていくことが可能になります。

◀詳細はこちら

こども園でSDGs出前授業を開催しました！

４月28日、認定こども園ほろんでSDGs出前授業を開催しました。

年長さん35名を対象に、世界と日本のギャップや上士幌町におけるSDGsの取り組みを紹介したほか、動画の上映、紙芝居などを行いました。授業の最後には、「食べ残しをしない」「使わない部屋の電気を消す」「手洗い・うがいをする」など、自分たちができるアクションについても考えてみました。

SDGs職員研修会を開催しました！

４月28日、町職員や議員を対象としたSDGs研修会を開催しました。約70名の方にご参加いただき、世界の現状や上士幌町の取り組みなどを紹介した後、10グループに分かれて、３月に完成した上士幌町版「SDGsボードゲーム」を体験していただきました。

令和4年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No.50
令和 4 年
5 月25日

TITLE：今年は「授業参観」が実施できました

４月29日（金）昭和の日に授業参観が行われました。特に１学年は多くの保護者等が来校し、それぞれの教室で授業を参観していました。

この日は昭和の日でしたが、授業は今年度からの一人一台端末を活用した授業を展開し、昭和の香りは全く感じられず、時代の最先端を行く授業でした。

校内でもペーパーレス化が進み、職員会議の資料や打合せ資料はデータ化され、それぞれのパソコンで確認するシステムになっています。今後は生徒への連絡や配布文書等もデータで配布を予定しています。

今月はいよいよ運動部最後の大会「高体連」が、５月19日から陸上・テニスを皮切りに開催されます。それぞれベストを尽くして欲しいです。

△多くの方にご来校いただきました

△タブレットを使って授業を行っています

△"アルティメット"という「競技」です

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

選択授業「上士幌学」が始まりました

文責 渡邊 このみ

最初は「上士幌町のキセキ」という本を読み合わせて、人口減への取り組みを知りました。「SDGsに積極的な町」という浅い知識しかなかったので、コーディネーター明石さんの説明に「そんな事までやっているんだ」と思うことが多かったです。

また「あぐり王国北海道」（HBC）では、karchのバイオマス発電で、理論上は町の電気を全て賄えるということにも興味が湧きました。胆振東部地震でも糠平ダムのおかげでいちはやく電気が復旧したのはエネルギーで自立していたからだと気づきました。今は世界の動きが不穏なので、これはものすごい強みだと思います。

私は音更町民ですが、「SDGs未来都市」にも選定されたこの町についてもっと勉強していきたいと思っています。

△輪読しているところです

△この本を読んでいます

△ここまでの内容で発表もしました

Kamishihoro High school

町民文芸

短歌

そちこちに夜辺の雨跡残りてゐそら青々と晴れてきにけり　本間栞風

年齢と知識欲とがむつみあい衰えゆける心を均す　尾野よし乃

平和ぼけしている我に届くかとニュースの映像問いかけている　松田理恵

保育園に着く度泣いたわが娘今は自から中へと向かう　中濵夏希

雨降りし五月一日肌寒く咲き始めたる桜散らぬか　鈴木豊

腰痛に悩まされしこの春は痛みに耐えて手術待つ日々　中村仁志

変りゆく月日の早さに自分だけ変らぬうちに桜咲き出す　小松義美

休日（やすみび）の続く五月の西山に雪の残りて風は冷たし　高木誠也

何枚も気球の形に革を切る午前の仕事革細工作り　瀬戸洋明

夕食の後にお菓子を控えたら体重少し減りつつありき　米森真弓

風強き小道をゆけば土ぼこり舞い上る中うぐいすの声　高橋博和

日々眺め短歌（うた）にも残ししわが庭の高き山桑ついに切らるる　石川裕子

編集後記

➲まちのわだいにも掲載しましたが、ひがし大雪自然館で新たな映像展示が公開されています（P26）。100インチのスクリーンで見る映像も迫力がありますが、やはりVRは違います。仮想現実を言うだけあり、360度どこを向いても立体的な視野が拡がり、あたかも空を飛んでいるような気分になりました。なお、VRの特性上、どうしても酔いやすいというのがありますし、ゴーグルを顔に密着しなければならないなどの欠点がありますので、ご利用の際はご注意ください。…T

広報かみしほろ 7月号は6月24日（金） 発行予定

戸籍の窓口

令和４年 4 月末現在の 人口

男　性	2,427人（+1人）
女　性	2,512人（−5人）
人　口	4,939人（−4人）
世帯数	2,612世帯（+5世帯）

令和 4 年度 ふるさと納税寄付金

4 月分	1,832 件 28,392,000 円
累計	1,832 件 28,392,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※５月12日現在

上士幌町民憲章

1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。